

喜多流 狩野了一 能の会

第四回

きこ乃舎 Ki no Kai

狂言

鐘の音

高澤祐介

能

鉢本

狩野了一

ああ降つたる雪かな

❖ 2023年6月24日(土)

午後1時30分開演(午後12時30分開場)

❖ 矢来能楽堂

東京都新宿区矢来町60 Tel:03-3268-7311

おはなし 山中 玲子

番組

狂言 鐘の音 シテ(太郎冠者)高澤 祐介 アド(主)前田 晃一

後見 大塚 出

休憩 二十分

能 鉢本

シテ連(常世の妻) 佐々木 多門  
後シテ(前同人) 狩野 了一  
前シテ(佐野源左衛門常世)

ワキ(北条時頼) 宝生 欣哉  
ワキツレ(二階堂某) 宝生 尚哉

アイ(二階堂従者) 高澤 祐介  
アイ(早打) 金田 弘明

大鼓 柿原 弘和  
小鼓 鷺澤 洋太郎  
笛 松田 弘之

後見 塩津 哲生  
中村 邦生

地謡 狩野 祐一  
塩津 圭介  
友枝 真也  
佐藤 陽  
大島 輝久  
金子 敬一郎  
長島 茂  
内田 成信

午後4時半頃終演予定

※上演中のビデオ撮影・録音・写真撮影は固くお断りいたします。携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。その他の音のなる機器のご使用はお控え下さいませ。

解説

鎌倉時代中期。大雪が降る中、鎌倉を目指す一人の旅僧が、上野国(こうずけのくに)佐野を訪れます。旅僧は雪のため先に進むことができず、道中にあつた家を探ね、主人の妻に宿泊を請います。やがて帰宅した主人の佐野源左衛門尉常世(さののげんざえもん)のようつねよ)はその頼みを聞きませんが、貧苦のために宿を貸すことはできないと一度は断ります。しかしその後、妻の助言もあり、去つた旅僧を追いかけ、一晩家に泊めることにします。寒さが厳しくなつてきたため、常世は大切にしていた梅と桜と松の三本の鉢の木を火にくべて、旅僧をもてなします。旅僧が常世に名前を尋ねると、名乗るほどの者ではないとしつつも、やがて旅僧に名を告げ、さらには親族に領地を横領されたために零落した身を述べます。それでも鎌倉で事変などあれば誰よりも先に駆けつけるつもりであることを旅僧に語ります。翌朝、お互いは名残を惜しみながらも旅僧は常世のもとを後にします。

それから日のたつたある日、鎌倉の北条時頼は関東八州の武士に召集をかけます。召集を聞きつけた常世は、みすほらしい出で立ちながら、鎌倉へと駆けつけます。一方時頼は部下の二階堂に、ちぎれた甲冑を着て、錆びた薙刀を持ち、瘦せた馬を連れて、錆びた薙刀を探し出して、自分の前に参上させるように申しつけます。二階堂はさらに従者に言いつけて、そのみすほらしい武士、すなわち常世を見つけ出します。常世が参上すると、以前家に泊めた旅僧が実は時頼であつたことに気が付きます。今回の召集は、時頼が常世の言葉に偽りがないかを確かめるためのものでしたのです。時頼は実際に鎌倉にやつてきた常世を称賛して横領された土地の回復を約束し、三本の鉢の木のお札に、梅、桜、松にちなんだ三ヶ所の庄を与えます。常世は喜んで上野国へと帰って行きます。

入場料

全席指定席

- 正面席/8,000円
- 脇正面・中正面席/7,000円
- 学生券(脇正面・中正面のみ)/3,000円

〈チケット〉お申込み・お問合せ

【狩野】

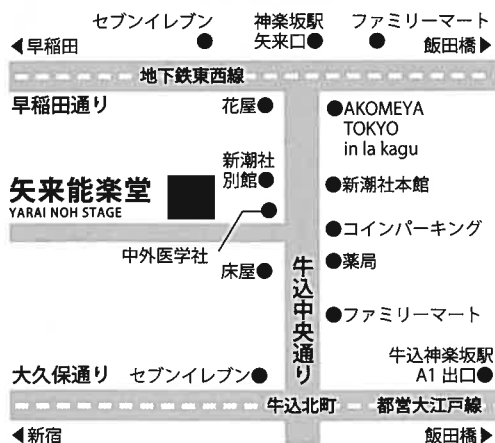
Tel:090-2312-9499/Fax:03-3301-9788 (狩野宅)  
Mail:ryo1\_kano@mac.com

【喜多能楽堂】※窓口でのお取扱いはございません

Tel:03-3491-8813

HP http://kita-noh.com/ticket

会場



【矢来能楽堂】東京都新宿区矢来町60  
HP <https://yurai-nohgakudo.com>  
Tel: 03-33268-7311